

運営方針・運営計画

クラブ名： 放課後キッズクラブ

運営法人名： NPO法人さこんやまキッズクラブ

選定期間： 令和5年度 ～令和9年度

【運営方針】	「守り、育てる、さらなる充実へ街のチカラをプラス」	
【説明（想い、意図）】	「安全な放課後」と「楽しいプログラム」の充実のため、「街のチカラ」をプラスして、地域全体で子どもを育む理想の形を目指す。	
【取組方針】	こども	日々の遊びや生活を通じ、子どもたちの「やってみたい」という意欲を尊重し、豊かな感性と創造性を育てる。
	保護者	適切な見守りと施設整備を行い、保護者が安心してお子様を預けられる「安全な放課後」を維持・報告する。
	学校・地域や組織運営	学校や地域との情報共有を密に行い、一貫性のある指導体制と安全対策を構築する。

【運営計画】

年度	取組①	取組②	取組③	総評	評議会意見・次年度への提案
1年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目				
	取組内容				
	振り返り (こどもの意見の反映状況等)				
2年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目				
	取組内容				
	振り返り (こどもの意見の反映状況等)				
3年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目				
	取組内容				
	振り返り (こどもの意見の反映状況等)				
4年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目	①プログラムの充実	③子どもの安全確保	③地域との連携	
	取組内容	地域人材によるプログラムの開催	スタッフ間の情報共有を徹底し、施設内の環境整備とヒヤリハットを共有	キッズクラブを地域の活性化拠点として「プラス」に動かせるよう、情報共有を促進	
	振り返り (こどもの意見の反映状況等)				
5年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目				
	取組内容				
	振り返り (こどもの意見の反映状況等)				

運営方針・運営計画（記載例）

クラブ名： 放課後キッズクラブ

運営法人名：

選定期間： 年度 ～ 年度

【運営方針】	「安心・安全・あそびの力で未来をつくる」	
【説明（想い、意図）】	安全な居場所で、遊びを通じて自主性・社会性・創造性を育むを基本理念とする。	
【取組方針】	子ども	子どもたちの「やってみたい!」を尊重し、未来への力を育む
	保護者	保護者の方の意見も聞きながら、家のように安心できる空間を意識して整える
	学校・地域や組織運営	安全管理を徹底し、学校・スタッフとともに安心して遊べる環境を整える

【運営計画】

年度	取組①	取組②	取組③	総評	評議会意見・次年度への提案	
1年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目	①プログラムの充実	②生活の場の確保	⑥学校との連携	<p>子ども会議により、子どもたちの意見表明や協働の力が育まれました。特に高学年のリーダーシップや、異年齢交流の促進が成果として見られました。次年度以降も取組を継続していきたい。</p> <p>また、視覚的な歓迎の工夫により、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりが進み、特に1年生は早くキッズルームになじむことができました。</p> <p>学校との連携においては、運動遊びの機会が増えたということだけでなく、学校との関係性も強化され、児童支援の質が向上しました。引き続き、ミーティングを持たせていただきたい。</p>	<p>3つの取組で、子どもたちの成長や安心感につながる取り組みが見られ、成果も感じている。これらの取り組みは継続しつつ、子どもたち自身の声を発信する機会を設けると、更なる成長につながるのではないかと考えている。個別支援など配慮のお子様も地域で増えてきている。キッズクラブの利用を希望する場合には、配慮をして欲しい。</p> <p>共働き世帯が多いエリアである。クラブからコミュニケーションを取る機会を設けてもらえるというのではないかと考えている。</p>
	取組内容	子どもが企画するイベント（子ども会議）を年2回実施し、主体性を育む	毎日の『ただいま』声かけとウェルカムボード設置で安心感のある生活の場を提供	学校との週1回の情報共有ミーティングを実施し、体育館の活用を促進		
	振り返り (子どもの意見の反映状況等)	子どもたちがグループに分かれてアイデアを出し合い、投票で企画を決定する子ども会議を開催し、以下を実施。 (5月)「みんなで楽しめるゲーム大会」 (11月)「秋のお楽しみ会」 準備や役割分担を通じて責任感が育まれた。子どもたちからは、「自分の意見をしっかりと言えた」「友達と仲良くなれた。」との意見があった。	登所時に職員が一人ひとりに「ただいま」「おかえり」の声かけを継続。 季節や行事に合わせたウェルカムボードを玄関に設置し、子どもたちの作品やメッセージも掲示。 子どもたちからは「作品が展示されてうれしい」という意見やウェルカムボードを楽しみにする様子が見られた。 保護者からも「温かい雰囲気でありたい」との声が寄せられた。	毎週水曜日に学校担当者とミーティングを実施し、児童の様子や施設利用について情報交換。 体育館の空き状況を共有し、放課後キッズクラブでの使用計画を調整し、体育館の使用回数が前年より増加し、運動遊びの機会が拡充した。		
2年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目	①プログラムの充実	④障害のある子どもの受入促進	⑦保護者との連携	<p>昨年度から継続している子ども会議と活動発表会の実施により、表現力の向上や子どもたちが自分の成長や得意なことを発表する機会を通して、自己肯定感が高められたのではないかと感じる。</p> <p>一方で、プログラムが増えてきており、業務量の見直しも必要である。日々の見守りに影響がでないよう注意していきたい。</p> <p>保護者との連携においては、多忙な方が多いため、回数を増やすのではなく、内容を深めて回数を絞ってみることも検討していきたい。</p>	<p>活動発表は、参加をさせてもらったが、どのグループも工夫がみられ、入念な準備をされたことが感じられた。スタッフの方には頭がさがる思い。みな、楽しんでいただけたのも印象的。保護者の方も見ることでいいのではないかと感じる。</p> <p>インクルーシブ活動は、プログラムを通じて、横のつながりが強くなったのではないかと感じる。</p> <p>活動の充実に向けて色々と工夫がされている。一方で、最近活動中にケガが増えているようなので、安全の確保は今一度取り組んで欲しい。</p> <p>安全については、自分たちで考えることも必要。プログラム化できないか。</p> <p>保護者との関わりも作ってくれて有難い。低調ということであるが、地域としては機会は持ち続けて欲しい。</p> <p>自治会からも子ども達の健全育成に協力したいという声もある。接点がないので、検討できないか。</p>
	取組内容	子どもによる活動発表会を年1回実施し、達成感と自己表現を促す	対象児童に個別支援計画を作成し、協力ゲームを通じたインクルーシブ活動を年3回実施	『保護者カフェ』を年6回開催し、保護者とのコミュニケーションを促進		
	振り返り (子どもの意見の反映状況等)	12月に「活動発表会」を開催。子どもたちがこれまでのクラブ活動の中から印象に残ったことや得意なことをグループごとに、工作・ダンス・絵・クイズなど発表。子どもたちが自分の思いや成果を人前で表現する経験を通じて、達成感と自信を得ることができた。「次はもっと頑張りたい」といふ子どもたちが複数いた。	支援が必要な児童に対して、個別支援計画を作成（計10名）し、職員間で共有。 6月・10月・2月に協力ゲーム（宝探しゲーム、チーム対抗リレー、協力パズル）でインクルーシブ活動を実施。 協力ゲームを通じて、児童同士の助け合いや声かけが活発になり、関係性の向上が見られた。	年間6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）保護者カフェを開催。 テーマは「子どもの生活リズム」「クラブでの様子」「子育ての悩み共有」などでコミュニケーションを実施。 合計参加人数は、30名（各回約5名）と低調であり、頻度や内容の見直しが必要。		
3年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目	③子どもの安全確保	⑧地域との連携	⑦保護者との連携		
	取組内容	安全に関する子ども向けワークショップを年2回実施	キッズクラブ地域開放DAYを開催し、地域との交流を深める。	保護者向けの活動報告会を年1回開催し、子どもの成長を共有		
	振り返り (子どもの意見の反映状況等)					
4年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目					
	取組内容					
	振り返り (子どもの意見の反映状況等)					
5年目	放課後キッズクラブ 運営指針項目					
	取組内容					
	振り返り (子どもの意見の反映状況等)					